

作成日

令和7年9月24日

議員名

肥後 孝俊

事業No.	81・48		
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

（事業内容について）令和6年度の当初見込み80件に対し、申請件数は79件と、ほぼ同等の実績となった。
制度の内容そのものというよりも、事業の周知によるさらなる認知度の向上が課題であると認識されている。また、この事業を含め、出会い・結婚・出産・子育てといったライフステージ全体でトータルに支援を行い、市民に安心して住み続けたいと思ってもらえるような環境整備が大きく必要であるという見解が示された。

（予算規模について）
この事業が新婚世帯の経済的負担の軽減に役立っていると考えられる。

■改善・提案内容

① それぞれのライフステージに沿った支援策を構築するために、何が支援策として求められているのかを、アンケートを取り毎年度ブラッシュアップしていく。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月 18日
議員名	村木 勝也

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
現行の内容のままで良いと思います。

(予算規模について)
現行の単価で良いと思います。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

特にありませんが、見込み件数をオーバーした場合、補正等の対応検討を事前に考えておく必要があると思います。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月18日
議員名	大谷 学

事業No.	81	
事業名	結婚新生活支援事業	
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会 総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		○現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
申請者の評価が高く、新生活をスタートさせるときの経済的支援は必要。

(予算規模について) 事業の内容や規模は妥当と判断したため

■改善・提案内容

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月18日

議員名

沖田 真治

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 結婚新生活への経済的支援。アンケート結果からも「大いに役立った」「ある程度役立った」との意見が90%以上を占める好評な事業。U・Iターン者増加につながったかどうかを検証するためにも長期的な事業継続が必要である。 (予算規模について) 申請件数は目標を上回り予算額も傾向であることは良いことであるが、限られた財源を有効に使うため、更なる工夫が必要。
--

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。 結婚新生活支援事業は結婚直後の住居費や引っ越し費用などに特化した政策。本市において、その後の出産、子育て、入園、入学、進学等のライフイベントへの支援が各それぞれになっている。結婚を始まりとして今後、予測されるライフイベントに対し支援を行っている。結婚を機に段階に応じ、行っている支援を示すことも必要ではないだろうか？評価を得て求められている事業を単体で終わらせずに「その後」の暮らしも見据えた包括的な支援の見せ方・つなぎ方の方法の一つとして、本市における結婚から子育て支援のパッケージ化、ナビゲーション化を図ることで安心して子育てができる町としてのアピールにもつながるのではないだろうか？

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年9月18日
議員名 村武 まゆみ

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		○現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
申請者のアンケートによると、結婚のきっかけの一つになったという回答が約半数あるということ。長期的な事業継続が必要と思う。

(予算規模について) 申請件数や満足度が高く実績も良好なため、現状の予算規模維持が適当と判断される。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。
事結婚前に広く知ってもらうことが必要である。アンケート等で情報入手経路を詳細に把握し、効果的な周知方法の検討を行うことが求められる。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	川上 幾雄		

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	○要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

新生活支援事業（国事業活用制度）については国の方針で増減する可能性があり、これについては国の動きを確認しながら進めるしかないが、浜田市独自の事業であり、工夫を重ねて当初目的である若者の定住促進及び少子化対策が進むよう、事業へ変化を持たせることが事業の継続と進展には必要と考え、改善を求めるが事業費は現状でおきたい。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 9月 18日

議員名 柳楽 真智子

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
生活応援金は自由に使い、利用しやすいと考える。また、利用見込みに対してほぼ同数の活用がなされており、県事業との盾分けもされていることから現行のままで良いと判断した。

(予算規模について)
現行通りで進めることが妥当と考える。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月 18日
議員名	串崎 利行

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
現状維持で問題なし。

(予算規模について)
現状維持で問題なし。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

結婚新生活支援事業補助金について、29歳以下・30歳～39歳の上限をすべて60万に合わせても良いと感じる。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月18日

議員名

小川 稔宏

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) この事業があることが結婚の契機になったとは考えにくい
が、結婚新生活に伴う経済的負担軽減の一助にはなっている。

(予算規模について) 財政にゆとりがないなかでは妥当な金額である。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

市独自の施策として評価できるが、若者が結婚を躊躇せざるを得ない原因である
低賃金や不安定雇用の改善や物価高騰対策については国レベル課題であり、で改
善を要望すべきである。

作成日	令和7年 9月 18日
議員名	上野 茂

事業No.	81
事業名	結婚新生活支援事業
担当課	定住関係人口推進課 移住定住係 所管委員会 総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	☒ 要改善	現行どおり	
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)	(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)	
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	☒ 拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 少子化が深刻な問題となる中、必要な事業であるこれまでの取り組みが先々まで定住につながるのか検証が必要

(予算規模について) 拡充する必要があると思う。

■改善・提案内容

住む場所、働く場の確保に介護、建設業など人材不足現場と連携した取り組みが必要では

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 10月 18 日
議員名 布施 賢司

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

特になし

(予算規模について) 特になし

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月18日

議員名

岡本 正友

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

（事業内容について）一結婚・出産へつなぐ支援は少子化対策として重要。物価高に対し地域の所得水準が追いつかない中、結婚への後押しとなり、定住促進にもつながる。

（予算規模について）一利用者の満足度も概ね良好。今後の状況において見直しが必要だが現時点では現状維持が適当。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

特になし

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月18日

議員名

芦谷 英夫

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
定住対策、少子化対策に対し評価していることから、さらに必要な拡充や見直しを行う。

(予算規模について)
事業拡大が求められる事項であり、事業実績や利用者の意見、市民ニーズなどを掌握し事業の構築を行う。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

- ①住宅支援として空き家バンクと連携し住宅提供のメニュー化を検討する。
- ②出産医療費、出産前医療費の支援。
- ③就学前教育保育費の支援の検討を行う。
- ④情報発信の工夫を行うとともに、市HPでの周知を拡充する。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月18日
議員名	永見 利久

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
定住対策・少子化対策に取り組む施策である。申請者のアンケートによると9割以上の方が「とても役立った」、「ある程度役立った」との回答があるということは評価できる。

(予算規模について)
利用者の方、9割以上方が役立ったとの回答で、現状維持が適当である。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

特になし

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月18日
議員名	佐々木 豊治

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
応援金について、増額の検討も必要との答弁有り。

(予算規模について) 予算も増額

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

他事業との調整で

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月19 日
議員名	田畑 敬二

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

支援事業は国の動向で増減するので市独自の事業にして、予算構成を検討すべき

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月18日
議員名	西田 清久

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
若い対象者の方々にとっては、アンケートにもあるように経済的不安の軽減に役立ったことは一定の評価が出来る。

(予算規模について)
事業内容に対しての事業費は、相当に思う。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

事業としての一定の評価はできるが、事業の目的の定住対策や少子化対策には根本的に違った要因があり、アイデアがさらに必要になる。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年7月18日
議員名 川神 裕司

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

定住化・少子化対策に対しては一定の効果があると認識している。

(予算規模について)

現状維持で問題ない

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

特になし

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 9 月 18日
議員名 牛尾 昭

事業No.	当No. 81、実No. 48	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	結婚新生活支援事業		
担当課	定住関係人口推進課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

予算規模に見合った応募があり、適当な事業である。

(予算規模について) 現行通り。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

特になし。

作成日	令和7年9月24日
議員名	肥後 孝俊

事業No.	93・55			
事業名	高校生通学定期券助成事業			
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会	

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
公共交通が未発達なこの地域において、高校生の通学定期券助成は保護者にとってとても助かるものである。しかしながら対象を絞る必要性については、疑問がある。また制度を知らなかったとの声に、学校を通じて周知強化を図る必要がある。

(予算規模について)
公共交通利用促進と保護者による送迎の負担軽減を図り住みやすいまちを目指す上でも、対象範囲を拡大し予算も拡充する。事業者への赤字補填よりも実際に乗車してくれる可能性の高い高校生へ補助を拡大すべき。

■改善・提案内容

事業者への赤字補填よりも実際に乗車してくれる可能性の高い高校生へ補助を拡大すべき。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年 9月 18日

議員名

村木 勝也

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

- ・対象外地域の生徒を持つ世帯から不公平感が指摘されています。
- ・市外の私立高校ではスクールバスの導入等で通学負担の軽減が図られている一方、市内公立高校への進学促進や地域交通利用促進の観点からも公平性の確保が求められています。
- ・通学助成の対象や支援内容に地域や通学距離によるばらつきがあり、進学先の選択における公平性にも課題があると思います。

以上の点から、本事業は支援の公平性向上と運営面での改善が必要であると思います。

2 予算規模について

公平性の確保に加え「地域公共交通の利用促進」や「市内公立高校への進学促進」といった観点を持つことも必要であり、予算の拡充が必要であると考えます。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

- ・遠距離通学者だけでなく、近距離通学者を含めた全ての市内在住高校生への通学費用助成の拡充を検討する必要があると思います。
- ・現行制度では、特定の学科に限った市外通学のみが対象であり、他の学科に通う生徒との間に不公平感があるため、対象範囲の見直しが求められます。
- ・特に、市外の私立高校においてはバス送迎が整備されている場合もあり、通学費用に大きな差が生じている現状を踏まえた再検討が必要です。
- ・通学支援を通じた定住促進や少子化対策は、自治体間での競争ではなく、広域的な連携・協調の観点から検討すべきであり、制度全体の在り方について中長期的な視野での見直しも必要であると思います。
- ・財源は、子育て、定住、交通対策といった市の政策の根幹から市単費を考えています。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月18日
議員名	大谷 学

事業No.	93			
事業名	高校生通学定期券助成事業			
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会	

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		○現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	○拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

私立高校がバスを運行し公立高校との条件格差がある中で、これを緩和して地元の高校への進学を誘発させる意味において有効な事業。

(予算規模について) 補助金額の増額を図る必要があるため

■改善・提案内容

大学生にも拡充させる

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月18日

議員名

沖田 真治

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 遠距離通学する高校生を持つ世帯を対象とした補助事業。令和4年度に開催された「地域の日」で出された通学への負担軽減を求める意見に応じ令和5年度より拡充されたが対象地域を広げたことにより利用世帯の増加に伴い大幅な増額となった。一方で対象外となった地域の生徒を持つ世帯からの不公平感は解消するべきである。敬老乗車券、乗り合いタクシー、あいのりタクシー等支援事業など高齢者を交通弱者と捉えた支援事業を行っているのであれば、高校生も交通弱者であり同様に扱うべきではないでしょうか？地域交通全体で考えた交通弱者対策を行うべき。また、市外の私立高校においてはスクールバスを導入し生徒の送迎を行っており、通学する生徒の負担の軽減を図っている。市内公立高校への進学を促すこと、地域交通利用促進の観点から事業評価に至った。 (予算規模について) 「地域交通の利用促進」「市内私立高校への進学促進」という観点も取り入れ増額するべき。
--

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。 浜田市内に暮らす全ての高校生の通学費用の一部を助成するべき。遠距離通学、特殊な事情がある家庭は配慮が必要。
--

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年9月18日
議員名 村武 まゆみ

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	○要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	○拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
本事業は遠距離通学する高校生世帯の負担軽減を目的として拡充されたが、対象地域や進学先による支援格差から不公平感が指摘されている。市内公立高校進学や地域交通利用促進の観点からも公平性の確保が課題であり、支援内容の見直しが必要である。あわせて、高校との連携強化や申請手続の効率化など運営面の改善も求められている。

(予算規模について) 令和6年度は申請件数が目標を上回り、現行予算では対応困難となっている。公平性の確保に加え、地域公共交通の利用促進や市内公立高校への進学促進の観点からも、予算拡充が適当と判断される。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

高校授業料無償化の動向を踏まえつつ、市内在住高校生全体への通学費助成拡充が必要である。現行制度は対象が限定され不公平感があり、市外私立高との格差是正や制度周知の強化も課題である。さらに、定住促進や少子化対策の観点から、広域的連携を視野に制度の中長期的な見直しが求められる。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	川上 幾雄		

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		○現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
目的に合った事業と判断する

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月 18日
議員名	柳楽 真智子

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) あくまでも市内高校への進学への妨げとならない配慮もされている。 市内高校へ遠距離から通う場合にも費用負担がある中で、このような補助が行われていることは恵まれていることから、現行通りで良いと判断した。 (予算規模について) 当と考える。	妥
--	---

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月 18日
議員名	串崎 利行

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

現状維持で問題ない。

(予算規模について)

拡充するべき。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

少子化であり、一人当たりの定期券購入助成金を増やすべき。（ふるさと寄附）

作成日	令和7年9月18日
議員名	小川 稔宏

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

（事業内容について） これまでも事業検証を行いながら改善されてきた点については評価できる。

（予算規模について） 住まいの地域、希望する学科、私立と公立等、様々な面で格差や不公平感が指摘されており、見直しを図るためには予算拡大の必要がある。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

公共交通の利用促進でいえば、私立高校でのスクールバス導入がJRや路線バスなど公共交通の利用減につながっている面は否めない。市内・市外、街地中心部と周辺部、学科の有無等による不公平感の緩和や負担格差是正のための見直しは必要。

作成日	令和7年 9月 18日
議員名	上野 茂

事業No.	93	
事業名	高校生通学定期券助成事業	
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会 総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	☒ 要改善	現行どおり	
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)	(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)	
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	☒ 拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

（事業内容について）保護者の負担軽減で喜んでいるとの報告があった。
将来浜田市へ帰り定住につながるきっかけになればよい

（予算規模について）物価高騰の中少しでも負担軽減に拡充した方がよい

■改善・提案内容

江津，矢上、益田と手厚い送迎がされている。浜田市も呼び込む受け入れ体制

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 10月 18 日
議員名 布施 賢司

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
特になし

(予算規模について) 特になし

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月18日
議員名	岡本 正友

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 一市外高校でも、市内にない学科以外は対象外になっており、対象外になった保護者から改善を求める声がある。進学先の選択において公平性にかかる意見もあり、見直しが必要。

(予算規模について) 一対象範囲の拡大を図る場合、助成対象が増えるため予算の拡充が必要と考える。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

地域間で競争するではなく、少子化や定住促進を見据えた自治体間の協調を意識すべき。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月18日
議員名	芦谷 英夫

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

申請手続き、制度周知など高校と連携する必要がある、高校への取次ぎ、事務代行などを検討する。

(予算規模について)

目標数値を超えており、予算規模の上限を引き上げる

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

高校授業料無償化の動向を見ながら、近距離通学生への拡大を検討する。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月18日

議員名

永見 利久

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
市外の高校への通学助成、市内の高校にない学科に通学する場合に限るとなっており、通学費の一部助成は公平性に問題がある。

(予算規模について)
助成対象が増える予算の拡充が必要。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

市内外の高校(市外の場合は、県内の高校で、市内の高校にない学科に通学する場合に限る)に一定額以上の通学定期券を利用して通学する生徒の保護者に対する、通学日の一部助成をだけでなく、全ての学科に通学する生徒に対して助成するよう改善するべきである。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月18日
議員名	佐々木 豊治

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
利用者の一定負担も必要

(予算規模について) 現状維持

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9 月 1 9 日
議員名	田畑 敬二

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

地域の実態に合った事業であり、漏れがないか、チェックすることが必要がある

(予算規模について)

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月18日

議員名

西田 清久

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

市外の高校に通う市内の学生に対する助成制度の在り方や距離による支援の在り方にばらつきを感じる。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

バスで送迎される私立高校などとの明らかな通学費用の違いもあり、根本的な事業見直しが近い将来求められる。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年7月18日

議員名

川神 裕司

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
通学費の一部助成は地域によりバラツキが発生している状況。結果的に公平性の観点からみても問題があると認識している。

(予算規模について)
公平性を担保するためにも予算の拡充は必要と考える。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

全ての高校生の通学費助成が可能となる制度設計が求められる。結果的には予算に関しても増額することが求められる。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月 1 8
議員名	牛尾 昭

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

適当であるが、私費通学生の場合は、考慮が必要。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

上記に同じ。

作成日	令和7年9月24日
議員名	肥後 孝俊

事業No.	96・58	
事業名	イベント情報発信事業	
担当課	政策企画課	所管委員会 総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	○ 廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	○ 廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

（事業内容について）
市民が観光協会のHPにイベント情報を気軽に投稿できる仕組みを構築した。令和6年度は7月24日から3月31日までの36週間で49件の投稿。週平均1.4件の投稿があり、一定のニーズが確認できた。令和7年度の予算は0円となっており、この事業は立ち上げには費用がかかったが、継続的な運用費用は不要であるという認識が執行部から示された。

（予算規模について）
スキームが構築され、ランニングコストが発生しないのであれば、予算廃止。

■改善・提案内容

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 9月 18日
議員名 村木 勝也

事業No.	当No. 96、実No. 58	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	イベント情報発信事業		
担当課	政策企画課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

現行の内容のままで良いと思います。

(予算規模について)

ランニング費用は、不要とのみと。
現に、令和7年度は、ゼロであるから。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

もう少し市民に、このサイトがあることをPRしたと思います。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月18日
議員名	大谷 学

事業No.	96		
事業名	イベント情報発信事業		
担当課	政策企画課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 （区分の説明）	廃止	要改善		○現行どおり
	（事業を廃止もしくは凍結）	（事業の内容や手法に改善や見直しが必要）		（事業の内容や手法はおおむね現行どおり）
予算規模 の評価 （区分の説明）	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	（予算はゼロ）	（予算は縮小）	（予算は現状維持）	（予算は拡大）

■評価判定に至った理由

（事業内容について）
令和6年7月からの運用開始で事業開始からの期間が少なく事業判定をする材料が乏しい。情報発信の必要性は重要と考えるので今後は注視していきたい。

（予算規模について）事業内容は妥当と判断したため

■改善・提案内容

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年9月18日
議員名 沖田 真治

事業No.	当No. 96、実No. 58	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	イベント情報発信事業		
担当課	政策企画課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
イベント情報の発信力強化、市民や観光客への認知向上を目的とし、令和6年度にシステムを構築し運用を開始した。初年度のイベント投稿件数は49件と着実の成果を出している。市内のイベントを一括して閲覧できるなど利便性も高い。今後の運用について利用者のニーズを反映しより良いものとなるのかという視点で判定に至った。

(予算規模について)
システムの構築として概ね妥当。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

県外、市外からのホームページへのアクセス件数も一定数あることから、今後も情報発信の更新に努めるとともに市内の利用者が増えるよう更なる周知が必要。観光情報にとどまらず飲食店やローカルフード等の情報コンテンツを盛り込むことで発信する情報の価値が高まるのではないのでしょうか？

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年9月18日
議員名 村武 まゆみ

事業No.	当No. 96、実No. 58	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	イベント情報発信事業		
担当課	政策企画課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		○現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	○廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 新システム導入によりイベント情報発信が強化され、利便性や市民参加も向上し一定の成果が見られる。今後はアクセス数や利用者評価を点検し改善を図る必要があり、現段階では現行内容の継続が適当と判断される。 (予算規模について) 令和6年度で目的は達成され、今後は既存体制で対応可能なため、新規予算の継続は不要と判断される。必要な改善は既存事業との連携で行うのが望ましく、本事業は縮小・廃止が適当である。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。 情報収集や団体との連携強化、運用ルール整備、周知の工夫が必要である。観光に限らず生活情報も取り入れ、市公式LINE等を活用しつつ、主催者投稿やジャンル別発信など発信内容の充実を図ることが求められる。
--

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	川上 幾雄		

事業No.	当No. 96、実No. 58	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	イベント情報発信事業		
担当課	政策企画課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	○要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	○縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

情報発信としてはスタートした状況で効果は不明のようで、今後を注視しなければならない。ウェブサイトの利用状況はある程度確認できたが、活用できる団体等の拡散は必要と思われる。改修はできたのであるから運営費程度に縮小すべき。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 9月 18日
議員名 柳楽 真智子

事業No.	当No. 96、実No. 58	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	イベント情報発信事業		
担当課	政策企画課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) ウェ
ブサイトの改修にかかる費用であり、当該年度で終了の事業であることから廃止
と判断した。

(予算規模について) 終
了の事業のため廃止。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月 18日
議員名	串崎 利行

事業No.	当No. 96、実No. 58	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	イベント情報発信事業		
担当課	政策企画課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

問題無し。

(予算規模について)

問題無し。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

既にこの事業は、今年廃止されている。事業目的が達成され評価している。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年9月18日
議員名 小川 稔宏

事業No.	当No. 96、実No. 58	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	イベント情報発信事業		
担当課	政策企画課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

（事業内容について）システム構築により当初の目的は達成され。一定の成果は認められるので、他の情報提供体制との連携を図りつつ運用継続されたい。

（予算規模について）新たな予算措置の必要はないと考える。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

認知度向上に向けた取組や運用ルールを整備等に期待したい。

作成日	令和7年 9月 18日
議員名	上野 茂

事業No.	96		
事業名	イベント情報発信事業		
担当課	政策企画課DX推進係	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	☒ 要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	☒ 拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 自然、食、文化など観光資源がある中十分生かされていない。広島まで多くの観光客、山陰に呼び込む施策を

(予算規模について) 神楽の外国語など情報の発信などへ予算の拡充が必要

■改善・提案内容

学習塾など数百人の受け入れが行われているのツーリズム協議会、子供に人気の神楽で家族を呼び込む仕組みづくりを

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 10月 18 日
議員名 布施 賢司

事業No.	当No. 96、実No. 58	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	イベント情報発信事業		
担当課	政策企画課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
特になし

(予算規模について) 特になし

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年9月18日
議員名 岡本 正友

事業No.	当No. 96、実No. 58	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	イベント情報発信事業		
担当課	政策企画課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止 (事業を廃止もしくは凍結)	要改善 (事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		現行どおり (事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止 (予算はゼロ)	縮小 (予算は縮小)	現状維持 (予算は現状維持)	拡充 (予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) ー一定の成果があったものとする。

(予算規模について) ー必要なし

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

なし

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月18日

議員名

芦谷 英夫

事業No.	当No. 96、実No. 58	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	イベント情報発信事業		
担当課	政策企画課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
アクセス数がどうか、イベントなどがキチンと運営できたか、投稿者やイベント主催者の評価などの点検を行うことが必要。

(予算規模について)
単年度だけでなく、事業の拡充、必要な見直しなど経年的な経費が必要。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

- ①イベント情報の収集、団体事業者との連携は取れているのかの検証、それをカバーする意味から市各課からの参画と協力。
②発信内容点検の体制はあるのか、発信者側の責任として苦情対応などの体制が必要。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年9月18日
議員名 永見 利久

事業No.	当No. 96、実No. 58	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	イベント情報発信事業		
担当課	政策企画課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
令和6年度で、事業の目的は達成されている。

(予算規模について)
必要なし

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年9月18日
議員名 佐々木 豊治

事業No.	当No. 96、実No. 58	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	イベント情報発信事業		
担当課	政策企画課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
不要な事業で廃止

(予算規模について) 不要な事業で廃止

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 9月19日
議員名 田畑 敬二

事業No.	当No. 96、実No. 58	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	イベント情報発信事業		
担当課	政策企画課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

イベントの情報発信が遅く、情報効果は不明であると感じられた。イベント経費を検討して縮減すべき

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月18日
議員名	西田 清久

事業No.	当No. 96、実No. 58	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	イベント情報発信事業		
担当課	政策企画課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止 (事業を廃止もしくは凍結)	要改善 (事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		現行どおり (事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
	予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止 (予算はゼロ)	縮小 (予算は縮小)	現状維持 (予算は現状維持)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

令和6年度の単年度事業で、執行部との意見交換も踏まえ、本来の事業目的は達成されたとの判断。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

新たな周知方法やジャンル、ターゲットをより分ける手法について検討が必要になる。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年7月18日

議員名

川神 裕司

事業No.	当No. 96、実No. 58	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	イベント情報発信事業		
担当課	政策企画課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
当初の事業目的は達成していると認識している。

(予算規模について)
事業廃止に伴い、予算措置は必要ない。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

特になし

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月 1 8

議員名

牛尾 昭

事業No.	当No. 96、実No. 58	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	イベント情報発信事業		
担当課	政策企画課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

適当である。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

特になし。

作成日	令和7年8月28日
議員名	肥後 孝俊

事業No.	当No. 209、実No. 82	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	介護人材確保・定着対策事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 補助制度の周知強化により相談件数は増加傾向にあるが、実績は目標を下回っている。R5年度は支度金補助3件の実績で、R6年度も2件と低調である。ただし、R7年度に向けて複数の事業所から活用予定の相談が寄せられており、潜在的なニーズは確認できる。ニーズの掘り起こしとボトルネックを解消する手段を構築し、人材確保と定着に結びつけたい。 (予算規模について) 【潜在需要の存在】 R7年度に向けて複数の事業所から活用相談があり、ニーズは確実に存在する。 【圏域課題への対応】 介護人材不足は浜田市だけでなく圏域全体の課題であり、広域連携を含めた抜本的対策が必要。 【新規事業の必要性】 介護研修の受講料助成など、新たな支援メニューの追加検討が明記されている。

■改善・提案内容

① 事業所負担の軽減策 補助率を現行の50%から80%へ引き上げ、事業所の初期負担を大幅軽減。 小規模事業所向けに100%補助枠を新設（年間2件程度） 申請手続きの簡素化と、補助金の概算払い制度導入。 DX化の支援策新設。 ② 人材への直接支援制度創設 介護職員個人への資格取得支援金制度（上限10万円/人） 市内事業所への就職を条件とした奨学金返済支援制度。 UIターン者向け家賃補助制度（月額2万円×2年間） ③ 高校生・中学生への早期アプローチ 夏休み介護体験プログラムの実施（参加者へ図書カード支給など）
--

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	村木 勝也		

事業No.	当No. 209、実No. 82	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	介護人材確保・定着対策事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
事業者へのヒアリングから、現場ではICT導入や介護ロボット、見守りマット等の活用による業務効率化・負担軽減への強いニーズがあり、令和8年度に期待します。

(予算規模について)
介護職の定着には処遇改善が不可欠であり、市の事業としてより直接的な支援ができないか検討すべきである。また、資格取得支援、奨学金返済支援、家賃補助、研修受講補助など、長期的定着につながる施策が必要であると考えます。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

今後の課題解決にとっても大切な事業であるため、市単費と考えます。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月19日
議員名	大谷 学

事業No.	209			
事業名	介護人材確保・定着対策事業			
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会	

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 仕事内容に対し給与面での対価が見合っていないところが介護人材が確保しにくい根本的な要因と理解しているが、対策を講じておく必要があるので現状どおりとする。 (予算規模について) 状況から執行率が低いからと言って縮減するわけにも行かないので現状維持とする。
--

■改善・提案内容

労務環境の改善につながる機材の購入補助などの支援策も検討されたい。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 9月 19日
議員名 沖田真治

事業No.	当No. 209、実No. 82	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	介護人材確保・定着対策事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

介護人材確保のための求人支援や定着支援など多岐にわたる支援を行っている。現在、浜田市における介護人材不足は深刻化しており、本事業の必要性は高い状況にあるが、低調な執行率の理由に介護事業者が求める支援と事業内に乖離があることが大きな理由であることから求められている支援内容を事業に盛り込む必要がある。

(予算規模について) 支援内容の充実を行うために必要であれば拡充。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

事業所からの設備の拡充、外国人労働者の受け入れに関する内容の助成については、国、県の事業において使える制度は有効に活用したうえで事業者が積極的に活用できる制度構築を検討すべき。財源については期間を決めたうえでふるさと寄付を充当。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年9月19日
議員名 村武 まゆみ

事業No.	当No. 209、実No. 82	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	介護人材確保・定着対策事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
現状の事業では効果が限定的であり限界なのではないか。現場のニーズとの乖離がある。介護人材不足に対しての事業だが、そもそもの介護を目指す人材が不足している。

(予算規模について) 介護人材確保・定着することを目的とするためには、拡充する必要があると考える。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

介護人材を増やすための研修を浜田市において増やしていく必要がある。例えば、リハビリテーションカレッジ島根の協力が得られれば良いのでは。介護人材が増えるために本当に必要な内容にする必要がある。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	川上 幾雄		

事業No.	当No. 209、実No. 82	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	介護人材確保・定着対策事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

事業の目的は、必要とされる介護が確実にできるよう人材を確保し、その人材が定着することにあるようだ。説明されたように地域内における人材の高齢化と不足は明らかであり、外国人を求める声も聞こえる。しかし、人材不足の前に単位単価の低さに人材が集まらないことも事実でしょう。人材確保支援金も必要ですが、浜田市独自の制度として、加算手当（移動等）の上乗せを検討するなどが望まれる。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

作成日	令和7年 月 日
議員名	柳楽 真智子

事業No.	当No. 209、実No. 82	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	介護人材確保・定着対策事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

周知による効果が見え始めているようなので、更なる周知と新たな周知先の検討も必要である。

(予算規模について)

事業者の実情に合った効果的な補助が必要。

■改善・提案内容

周知を強化したことで活用についての相談が増えているとのことなので、更なる周知が必要である。学校での介護分野の周知活動も行われているようであるが、養護学校の生徒を含む障がいのある人を介護人材に育てることも、人材確保につながると考えることから、周知を含め検討が必要。

求人活動をしっかりと行うためには様々な手段を活用する必要があると考えることから、効果的な求人活動に必要な経費について現状を把握して拡充を行う必要があると考える。また、そもそも介護人材が不足していることから雇用したくてもできない状況がある。浜田地区広域行政組合の人材育成の取組ともしっかりと連携しながら進めてほしい。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月 19日
議員名	串崎 利行

事業No.	当No. 209、実No. 82	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	介護人材確保・定着対策事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

介護人材確保、解決に至っていないため。要改善する必要がある。

(予算規模について)

介護人材確保支援金・研修経費補助金は、増額するべき。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

人材不足を補う為には、ICT導入・介護ロボットの活用・外国人の登用・介護退職者の扱い・元気な高齢者の雇用・養護学校の生徒や障がいを持つ方々など調査研究が必要。（ふるさと寄附）

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月19日
議員名	小川 稔宏

事業No.	当No. 209、実No. 82	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	介護人材確保・定着対策事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 一定の効果は認めるものの、介護人材不足の原因を明確化したうえで課題解決を図る必要性を感じる。 (予算規模について) 当面は現状を維持しつつ事業内容については見直す必要がある。
--

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。 介護報酬の早急の見直し国に求めるべきである。特に訪問介護の改定は中山間地を抱える浜田では深刻な状況にある。広域行政組合で介護人材育成を担い、人材確保は市が行うという役割分担の見直しも検討されるようなので推移を見守りたい。

令和7年 8月28日

上野 茂

事業No.	当No. 209、実No. 82	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	介護人材確保・定着対策事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり	
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)	
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充	
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)	

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
職員の高齢化や離職者も多く、訪問介護なども限界を迎えている。このままいくと事業者や利用者への影響は大きい。

(予算規模について) 実態の正確な把握をして予算の拡充も考えるべき。

■改善・提案内容

都市部とは違う在宅支援など物価高騰の中、大変厳しい状況にある。実態の把握を行い改善策を考えるべき。

作成日

令和7年9月19日

議員名

布施 賢司

事業No.	当No. 209、実No. 82	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	介護人材確保・定着対策事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)	
1 担い手の育成：人材育成の必要性は認識し合同研修を西部で開催している。ステップアップ研修制度による技術者育成への期待がかかる。	
2 介護助手：応援隊として非専門人（無資格者）を活用する取組が有効であると認識されているが、取組には数課題がある。	
3 ICT活用：行政、医療機関や福祉施設間での活用レベルにバラツキがある。	
(予算規模について)	
現場サイドとのきめ細やかな支援が必要であるため、予算は拡充されるべきだ。最終的には人材確保は報酬基盤の底上げである。	

■改善・提案内容

1：人材育成のためには、西部で開催する合同研修会を増やすべきだ。 (入門者は家族介護の人や転職者が中心であるが、外国人の受講者の確保を)	
2：介護助手は専門人（資格者）の仕事量が軽減さるるため、現場サイドは有効性があるが、現場対応できる支援体制の整備が必要。 (訪問介護では資格者が必修などがハードル)	
3：ICT活用については、医療情報を共有でき、在宅ケアの向上と事務効率化に寄与しているため、教育や支援体制の充実を求める。	

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月19日

議員名

岡本 正友

事業No.	当No. 209、実No. 82	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	介護人材確保・定着対策事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)－周知不足により利用件数が少なく、支度金・求人活動ともに予算執行が低調。しかし、介護人材の確保は市内施設にとって共通課題であり、廃止でなく改善が必要。事業所からは「入社後研修や資格取得支援」「外国人介護人材の活用」など多様なニーズも聞かれており、制度の受難な見直しが求められる。

(予算規模について)－執行率は低いが補助事業の存在が一定の相談窓口として機能しており、将来に向けた改善の余地がある。他の自治体でも介護人材確保に向けて支援を行っており、単純に予算削減すべきでない。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

- 1 周知方法の強化－ホームページに記載に加え説明会や事業所訪問
- 2 補助内容の見直し－支度金だけでなく資格取得や研修受講支援を検討、外国人介護人材を対象としたサポート制度
- 3 他市への事例調査

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月 21日
議員名	芦谷 英夫

事業No.	当No. 209、実No. 82	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	介護人材確保・定着対策事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 （区分の説明）	廃止	要改善		現行どおり
	（事業を廃止もしくは凍結）	（事業の内容や手法に改善や見直しが必要）		（事業の内容や手法はおおむね現行どおり）
予算規模 の評価 （区分の説明）	廃止	縮小	現状維持	拡充
	（予算はゼロ）	（予算は縮小）	（予算は現状維持）	（予算は拡大）

■評価判定に至った理由

（事業内容について）
予算規模も小さく、事業実績も上がっていない、介護人材不足の現状から抜本的な制度設計が必要。

（予算規模について）各施設、事業所の人員不足を調査し、不足数の3割程度は予算化すべき。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

一般財源を充当する。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 9月 19 日
議員名 永見 利久

事業No.	当No. 209、実No. 82	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	介護人材確保・定着対策事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
執行率は低調であるが、事業の必要性は高く継続する事業である。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

介護事業所からの要望と事業内容に乖離がある。見直しの検討が必要。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 月 日
議員名	佐々木 豊治

事業No.	当No. 209、実No. 82	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	介護人材確保・定着対策事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 （区分の説明）	廃止	要改善		現行どおり
	（事業を廃止もしくは凍結）	（事業の内容や手法に改善や見直しが必要）		（事業の内容や手法はおおむね現行どおり）
予算規模 の評価 （区分の説明）	廃止	縮小	現状維持	拡充
	（予算はゼロ）	（予算は縮小）	（予算は現状維持）	（予算は拡大）

■評価判定に至った理由

（事業内容について）
事業者が利用できる制度設計が必要。

（予算規模について） 拡充すべき。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	田畑 敬二		

事業No.	当No. 209、実No. 82	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	介護人材確保・定着対策事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

介護人材確保に対する支度金・求人活動費であり予算編成時に十分に検討すべき。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	西田 清久		

事業No.	当No. 209、実No. 82	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	介護人材確保・定着対策事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

内容については、介護人材の高齢化や限られた人数の中で、国、県の事業も活用しながら引き続き頑張って事業を継続していただきたい。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

介護人材を増やす対策としてふるさと応援基金なども活用していただきたい。

作成日	令和7年9月19日
議員名	川神 裕司

事業No.	当No. 209、実No. 82	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	介護人材確保・定着対策事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
本事業は人材確保に要する経費の補助であるが、主要施策である「地域包括ケアシステムの構築を推進するためにも、そのベースを作る重要な施策と認識している。内容に関しては、人材確保に要する支度金や求人活動の補助、人材研修に要する経費の補助である。しかしながら、人材確保・定着事業としては、老人福祉施設協議会部会からの意見から言えるが、十分なメニューとは言えず、さらなる支援メニューや現メニューの充実が不可欠と感じる。

(予算規模について)
上記で述べたようにメニューの拡充のためには、現在の予算では十分な支援ができないのではないかと。現在のメニュー以外にも現場の関係者としてしっかり意見交換を行い増額に向けた協議が必要。

■改善・提案内容

各法人人事担当者が人材確保のために全国各地へ出向き積極的なアプローチを行っている。まずは現在の人材求人活動(移動費・宿泊費等)の増額は不可欠である。また人材確保のための情報収集、情報交換のための経費も十分考慮する必要があるのではないかと。また人材定着のための各種研修受講のための受講料の補助も必要ではないかと。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月22日
議員名	牛尾 昭

事業No.	当No. 209、実No. 82	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	介護人材確保・定着対策事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

人材確保は、喫緊の課題である。

■改善・提案内容

インセンティブが必要である。

作成日 令和7年8月28日
議員名 肥後 孝俊

事業No.	当No. 270、実No. 113	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域医療連携事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
参加校の伸び悩み 市内23校中13校の参加に留まり（参加率56%）前年度と同数で横ばい。
看護職員対策の欠如「看護職員の確保対策を喫緊の課題」と明記されながら、具体的な事業が未実施。
周知期間の不足 申請までの期間が短く、学校側の準備不足が参加率低迷の一因。

(予算規模について)
事業全体の目的を達成するには、息の長い戦略と予算が必要と考える。地元出身の医師・医療従事者を育て、帰ってきて地域医療を充実したものとするためにも、様々な手を構築する必要がある。

■改善・提案内容

- ① 看護師確保緊急対策事業の新設
看護学生への修学資金貸付制度（月額5万円 市内就職で返済免除）
潜在看護師の復職支援プログラム（研修費全額補助＋託児支援）
看護師宿舎の整備支援（医療機関への建設費補助）
- ② 地域医療教育の全校展開
教育委員会との連携による必修化検討。
オンライン医療授業の導入で、医師不足地域でも実施可能。
参加校への活動支援金増額（現行10万円→20万円）
- ③ 医学生支援の強化
浜田市出身医学生への生活支援金（月額3万円）
地域医療実習の受入れ体制整備と交通費・宿泊費全額支援。
メンター制度による継続的なキャリア支援。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	村木 勝也		

事業No.	当No. 270、実No. 113	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域医療連携事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

- ・小中学校の段階から地域医療の重要性を伝え、将来の担い手を育てる「キャリア教育」の視点を事業に盛り込むべきであると考えます。
- ・現状の「連携事業」という名称では実態と合わない部分があるため、「人材確保・育成事業」など、より目的を明確にした事業名に変更してはどうかと考えます。

(予算規模について)

先ずは、不用額調整の減額補正が無いよう事業内容を再構築してください。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

小中学校における地域医療学習については、地域の深刻な現状を学校側に認識してもらい実施可能な時期を回答の上確実に実施すべき。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 9月 19日
議員名 沖田真治

事業No.	当No. 270、実No. 113	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域医療連携事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
医療従事者の育成における事業は長期的な視点で成果を求めるべきであり、今後も事業の継続が必要。看護師不足も深刻な課題であり確保対策事業の見直しの検討が必要。

(予算規模について) 現状維持。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

看護師確保策の強化：市独自の具体的な支援策の検討。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月19日
議員名	村武 まゆみ

事業No.	当No. 270、実No. 113	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域医療連携事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
早期キャリア教育は効果があるとされており重要であると感じた。浜田医療センターとの連携が重要。

(予算規模について) 目的を果たすためには拡充の必要があると感じた。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

市内の学校、または子どもを対象としたイベントなどの実施を検討し、医療従事者のキャリア教育に力を入れて欲しい。浜田医療センターの医療従事者のメンター育成の充実。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	川上 幾雄		

事業No.	当No. 270、実No. 113	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域医療連携事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

連携事業と銘打っているが実情は支援金・負担金・寄付であり、どのような連携が行われているか解りずらい状況が見受けられる。行われていることは医療の支えとして必要なことであり、継続は必要でしょうが、そのためには効果の見える化がなされるべきで、経費活用に工夫が必要です。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

作成日	令和7年	月	日
議員名	柳楽 真智子		

事業No.	当No. 270、実No. 113	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域医療連携事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 地域医療に対する啓発活動については、目標に対して実績がかなり下回っている。申請期間が短かったことも要因とのことなので改善が必要。
(予算規模について) 看護実習費補助については、魅力あるものにすることが大事である。また、啓発活動についても様々なツールを活用するための予算が必要である。

■改善・提案内容

実習費補助については、実情を把握して足りないところを補うことが必要である。また、人材育成や確保対策としての動きは見えるが、地域連携・広域連携の取組が見えないことから、近隣市町との効果的な連携の検討が必要と考える。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月 19日
議員名	串崎 利行

事業No.	当No. 270、実No. 113	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域医療連携事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

人材確保・育成事業など、より明確にした事業名の変更。

(予算規模について)

長期的課題で、予算の拡充するべき。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

看護師確保対策の強化、市独自の支援策や戦略的PRの展開が必要。
(ふるさと寄附)

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年9月19日
議員名 小川 稔宏

事業No.	当No. 270、実No. 113	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域医療連携事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 本事業の目的と医師確保対策事業の目的との類似性と相違性の整理が必要と思われる。 (予算規模について) 現状を維持したうえで、医師確保対策を整理したうえで必要であれば拡充を求める必要がある。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。 事業の一本化の検討もされるようなので今後に期待したい。
--

議員名 上野 茂

■議員評価（各評価上段に○）

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
医療センターと医師会の協働による地域医療システムの構築に関する実態など、事業効果を検証する必要があると考える。

(予算規模について) 看護職員確保対策や医療従事者に向けての支援に、もう少し予算の拡大を。

■改善・提案内容

地域医療浜田圏域なので江津市との連携にもっと力を。浜田市出身の医学生との意見交換など行ったが、地元に戻らないとの声を聴く。看護学校も地域とのつながりを深めようと民泊など行われている。話し合える場もあり非常に良い取組だが、卒業後も浜田市以外で勤めたい人が多く残念。

作成日	令和7年9月19日
議員名	布施 賢司

事業No.	当No. 270、実No. 113	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域医療連携事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 精査が必要な点が見受けられるものの、事業目的である総合診療医の獲得・育成は重要であることから、当該事業は継続して行う必要がある。短期的な成果が出にくいこともあり、長期的な取組として位置付けられることが必要。医療科の偏在もあり、総合診療医に限らず、全体的な医療確保・育成には別事業とも整理して取り組むべきだ。 (予算規模について) 成果につなげるためには、新たな取組にもチャレンジできる予算がないのではないか？

■改善・提案内容

1：補助金額の見直し 2：情報発信の改善 3：新たなプログラム開発の必要性 4：事業名の変更 (3月に福祉環境委員会で提言した内容である)
--

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月19日

議員名

岡本 正友

事業No.	当No. 270、実No. 113	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域医療連携事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

（事業内容について）－浜田医療センター・浜田市医師会の連携は、地域医療体制の確立に資する重要な取組。児童生徒に対する地域医療学習は早期から医療人材の育成意識を高める有効な活動。一方で少子化の進展により、医療職を目指す若年層の裾野拡大が求められる。

（予算規模について）－医療人材育成は時間を要する取組であり、継続と同時に拡充が不可欠。小中学校段階からの医療学習や啓発活動は投資効果が大きいと考える。他市事例に見られる奨学金制度や就学資金貸与、Uターン就職支援の仕組みも参考となる。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

- 1 児童生徒への取組強化
- 2 啓発活動の多様化

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 9月21日
議員名 芦谷 英夫

事業No.	当No. 270、実No. 113	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域医療連携事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
地域医療の体制づくりを推進し、具体的な医療従事者の確保目標を明確にし事業を進める。

(予算規模について) 予算規模は現状維持とし、執行内容の充実を図る。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 9 月 19日
議員名 永見 利久

事業No.	当No. 270、実No. 113	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域医療連携事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
地域医療連携という事業名では内容と合わない部分があり、事業名の見直しを検討。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

看護師確保のための支援策強化が必要と思う。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 月 日
議員名	佐々木 豊治

事業No.	当No. 270、実No. 113	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域医療連携事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年9月19日
議員名 田畑 敬二

事業No.	当No. 270、実No. 113	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域医療連携事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

関係機関との連携というより、機関への補助金・支援のための補助金であり、制度そのものを見直す必要がある。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	西田 清久		

事業No.	当No. 270、実No. 113	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域医療連携事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

事業内容については、毎年見直しを繰り返しながら構築されたもので、事業の統廃合なども視野に入れながら今後もやっていくと答弁されたので、現状維持としました。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

作成日	令和7年9月19日
議員名	川神 裕司

事業No.	当No. 270、実No. 113	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域医療連携事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 本事業は安定した地域医療の実現のためには極めて重要な事業である。特に地域医療に対する啓発活動は今後の医療人材育成のための根幹をなすと言っても過言ではない。小中学生の年代での地域医療の必要を感じてもらう取組や、自分自身の夢として医療関係者を目指すことの素晴らしさを感じてもらう取組は意味深いと考える。今後「地域医療教育推進事業」に取り組み、小中学を増やす取組は加速させなくてはならないと考える。さらに「浜田の地域医療を守る会」による地域住民の健康意識の向上施策は今後の医療環境の推進に大きな役割を果たすものである。 (予算規模について) 浜田市出身の医学生のさらなる支援はもちろんのこと、石見地域における重要医療機関との連携事業経費も拡充する必要がある。また看護職員の確保は喫緊の課題。確保対策経費の拡充も避けられない。
--

■改善・提案内容

「地域医療教育推進事業」に関しては、学校の自主的な取組になっている。しかしながら、もう少し強制力を持って事業展開ができないのだろうか。また「浜田の地域医療を守る会」は設立当初は市民の意見をしっかりとるとともに、住民も一緒に医療を守っていく行動を取ろうという趣旨で動いていたと認識している。最近は報告事項や講演等意義は感じるが、さらに住民と距離が縮まるような意見交換会や取組が必要ではないか。また看護職員確保に関しては、准看護学校閉鎖に伴う育成機能の低下が大きな問題。奨学金返済軽減施策の充実等、様々なアプローチを講ずるべきだ。
--

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月22日
議員名	牛尾 昭

事業No.	当No. 270、実No. 113	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域医療連携事業		
担当課	健康医療対策課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

医療コーディネーター派遣事業が初めて行われた。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

派遣事業の推移を見守りたい。

作成日 令和7年8月28日
議員名 肥後 孝俊

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

（事業内容について）
申請件数の激減 R6年度は前年比約31%減という大幅な落ち込み（42件→29件）
補助額削減の悪影響 県補助に連動した市補助額の引き下げが申請減少の直接的
要因。
制度の硬直性 FIT価格低下や太陽光パネルの廃棄問題など、刻々と変わる環境と
省エネ機器や住宅への支援策への対応が不十分。

（予算規模について）
【R7年度の大幅増額】 344万円から930万円へ約2.7倍の予算増（586万円増）が
既に計画済み。
【補助額の復活】 R5年度水準への補助額回復により、申請件数の回復が期待で
きる。
【新メニューの追加】 エネファーム補助の新設など、対象拡大による需要喚起が
見込まれる。
【若者支援の成功】 若者ファンドの上乗せ補助が好評で、新築住宅取得層への
訴求力が高い。

■改善・提案内容

- ① 段階的インセンティブ制度
早期申請ボーナス（4-6月申請で補助額10%増）
複数設備同時導入で補助率アップ（2設備で1.2倍、3設備で1.5倍）
地域ごとの導入目標達成で追加補助金配分。
- ② 新たな支援メニューの追加
集合住宅・アパートオーナー向け特別枠創設。
中小企業向け無利子融資制度との併用。金融機関との連携構築。
高齢者世帯向け設置工事費の分割払い制度。
- ③ 廃棄・メンテナンス対策
太陽光パネル廃棄費用の積立補助制度。
定期メンテナンス費用の一部補助（5年10年ごと）
地元業者による保守管理ネットワークの構築支援。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	村木 勝也		

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

・高価な蓄電池の導入支援こそが最も求められており市の補助金が少ないのではないかと思います。

(予算規模について)

先ずは、不用額調整の減額補正が無いよう事業内容を再構築してください。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

・地域への再エネ導入として集会所改修費用の上乗せ等を地域政策部と検討をお願いします。例えば「地域づくり振興事業」のメニューに入れるとかです。

・防災対策の面からも、自主防災組織をターゲットとして、「自主防災組織への周知」や「自主防災組織との連携」はどうでしょうか。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月19日
議員名	大谷 学

事業No.	305			
事業名	地域の再エネ導入支援事業			
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会	

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
カーボンニュートラルを推進する上では必要な事業と考えるため。

(予算規模について) 実績数が目標値を下回っている現状から目標値の設定そのものを下げて事業を推進する必要があると判断するため。

■改善・提案内容

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月 19日
議員名	沖田真治

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

電気買取価格の順次引き下げやパネルの廃棄処理問題など、制度を取り巻く情勢に変化が出てきたが、若い世代による新規住宅取得の際には好評な補助事業であることから現行制度で継続。

(予算規模について) 減額補正を行ったうえでの低調な執行率を踏まえた縮小。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月19日
議員名	村武 まゆみ

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
制度の周知と情報発信が不足している。金融機関との連携強化が必要である。

(予算規模について) まずは現在の計画を確実に進めることが重要であると考え
る。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

地元業者や地場の工務店への働きかけが不足していると考えられるので、市内の
関連事業者の意識を高め、商品と施工方法、保守点検の可視化など市民へのPRを
強化することが重要である。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	川上 幾雄		

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
事業の周知が足りないように思われるので、周知方法に工夫を求める。加えて、蓄電池設備については、需要を掘り起こすとともに規模の拡大を検討する事が事業の趣旨に沿うものと感じる。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

作成日	令和7年	月	日
議員名	柳楽 真智子		

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
執行率が76.4%であることから、活用しにくい部分があると考えられる。太陽光発電の廃棄処分に対する課題については、解決するための助言も必要。

(予算規模について)
住宅用の補助事業となっているが事業者の取組も重要と考えることから、事業者対象の補助事業（コンサル料への補助）の検討も必要。

■改善・提案内容

県に呼応して補助額を下げたことが活用減につながったことから、活用しやすい魅力ある制度設計が必要である。また、太陽光発電設備が外国製であることや廃棄処分に関する課題については、課題を解決するために必要な情報を示すことも必要と考える。

また、施行事業者等から省エネ導入の提案をして頂くために、事業者との連携を図ることも必要である。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 9月 19日
議員名 串崎 利行

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

事業内容が、市民や事業者十分に認知されていない。

(予算規模について)

先進的な取組が必要であり、予算の拡充するべき。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

市内の関連事業者の意識を高め、市民のPRが必要。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年9月19日
議員名 小川 稔宏

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 再エネ設備導入の設備投資が可能な家庭や事業所に限られることから公平な市民サービスの観点で疑問が残る。CO2削減効果やゼロカーボン目標の達成率や進捗状況の把握も難しい中、省エネ関連企業への支援の要素が強い。 (予算規模について) 一定の評価や効果があることから、縮小に近い「現状維持」とした。
--

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。 事業実績の報告にとどめず、事業目的から見た費用対効果を示す必要がある。
--

作成日 令和7年 8月28日

議員名 上野 茂

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 各団体と意見交換していく中でカーボンニュートラルを目指す自治体の取組が市民に浸透していないのではないかと有効性がどのくらいあるか、実態の正確な把握を行う必要があるため。 (予算規模について) 地球温暖化対策として再可能エネルギーは重要で執行率100%にすべき。
--

■改善・提案内容

設備設置業者は、市内より県外からが多い。市の補助金分を差し引くなど言われる。今後の廃棄処分などについて不安な方が多い。遠方からの業者による清掃など多額の費用がいる。

作成日 令和7年9月19日
議員名 布施 賢司

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

（事業内容について）
県補助の1件当りの補助額が下げられ呼応して市の補助額も下げたため件数が大きく落ち込んでいる。
FIT制度での電気買取価格の順次引き下げにより、取巻く情勢が変化している。
若者ファンドによる補助額の上乗せは人気があり、新規住宅取得の際の補助金利用は引き続き期待ができる。

（予算規模について）
取巻く情勢が変化していることを見定め、さらに事業費を拡充する。

■改善・提案内容

- 1：県補助の1件当りの補助が下げられたとしても、市は呼応して下げない。
- 2：太陽光発電設備の需要が一時期よりそれほど多くないと感じているが、災害時でも必要になってくる蓄電池の購入補助をもっと拡充すべきである。
- 3：EV（電気）自動車の購入補助を。（災害時移動可能な電源に使える）
- 4：エコ住宅取得の際の補助金の利用は期待できるが、金融機関との定期的な意見交換（コロナ禍で中止）ができていないの应予べきである。
- 5：地元、神楽電力や金融機関、行政が目指す取組を市民に分かりやすく広報ができていない。取組を可視化应予べきである。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月19日

議員名

岡本 正友

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

（事業内容について）一導入実績は評価できるが、執行率が低調であり、利用希望者が補助制度を十分理解していない可能性がある。補助対象や申請手続きが複雑な場合、市民にとって利用しにくさがある。

（予算規模について）一脱炭素・エネルギー政策は長中期的課題であり継続は不可欠。利用促進に向けた改善を前提に、原稿予算規模を維持することが妥当と考える。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

- 1 制度周知の強化
- 2 利用しやすい仕組みづくり
- 3 需要傾向の把握

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 9月21日

議員名 芦谷 英夫

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

当初予算から大幅に補正減しなお執行率が低く、制度設計を再検討すべき。

(予算規模について) 時代の要請からこの種の事業は維持、拡大すべきであり、予算執行が向上する予算メニューを検討する。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9 月19日
議員名	永見 利久

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
予算執行が100%に達していない現状なので、市民に対して事業内容の周知が必要。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

現行予算を使い切るための対応策が必要である。

作成日	令和7年	月	日
議員名	佐々木 豊治		

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり	
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)	
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充	
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)	

(事業内容について)

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	田畑 敬二		

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

事業を市民に周知する手法の検討が必要である。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	西田 清久		

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

事業内容については、県の補助金等を基準にされているので、特段現行どおり現状維持としました。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

作成日	令和7年9月19日
議員名	川神 裕司

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) R4年度にゼロカーボンシティ宣言を行っており、毎年事業は行われているものの再エネ設備導入のための補助金を活用した件数実績は伸びていない。今後も再エネ施策を取り巻く状況は変化するものと考えられるが市としても可能な限り再エネ導入に力を注ぐべきである。この流れが停滞するとゼロカーボンシティ宣言は絵にかいた餅となりかねない。 (予算規模について) 現在の計画を確実に進めることが重要であり、予算規模も現在の積算額で特に問題ないとする。

■改善・提案内容

補助金増額が再生エネルギー設備である太陽光発電、太陽熱利用、蓄電池、木質バイオマス設備の整備推進にはなると考える。しかしながら今までの目標と実績の解離をみていると、まずは目標を確実にクリアする取組が大事。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年9月22日
議員名 牛尾 昭

事業No.	当No. 305、実No. 150	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	地域の再エネ導入支援事業		
担当課	環境課	所管委員会	福祉環境委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

さらに、事業の告知に励みたい。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

様々な告知形態に取り組まれない。

作成日	令和7年9月24日
議員名	肥後 孝俊

事業No.	345・167		
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 新しい仕掛けを継続的に行なっている点は評価する。地域住民と都市部の交流促進につながる施設になってほしい。 (予算規模について) 維持管理費を維持。目標達成後に設備更新等の予算拡充とする。
--

■改善・提案内容

ふるさと体験村が、より多方面からの人材が関わるプラットフォームとなるイベントを開催する。自立分散型社会を弥栄から目指す！と銘打ったイベント等。
--

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 月 日

議員名 村木 勝也

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

（事業内容について）

本事業は、施設の維持管理を目的とした指定管理委託であるが、「ふるさと体験村」という弥栄地域の目玉となる施設運営となるものであり、その活用は委員会として以前より注目していた。行政への現状確認では当初計画に比して「宿泊客」の入込みが下回っており、これは大きな課題とされている。施設運営関係者へのヒアリングでは、「ふるさと体験村は目的でなく手段である」とのことで、弥栄地域に飲食・宿泊施設があることで滞在や交流がしやすくなること、また、新規就労や滞在する人たちにとって心の居場所であり、集いの場所であるとのことであった。地域全体のことを考えると、「ふるさと体験村」はハブ的存在としての考えがあり、ハブとしての位置を生かした事業を進めるべきとも考える。

「おてつたび」や「いわみ留学制度」などにも取り組まれ、弥栄地域のアピールもできつつあり、本年設立された「特定地域づくり事業協同組合」などとも連携する中で、弥栄地域の新たな価値を高める拠点として生かすべきと判断した。

（予算規模について）

体験村施設自体の入込みを増やす努力も必要だが、地域の拠点としての事業の進展を期待して管理費は現状維持と評価する。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

今後実施予定の「どぶろくづくり」や体験事業の拡充などによる体験村施設独自の取組の検討に加え、地域の拠点施設として、すでに実施している「交流人口増」の取組や国が検討している「ふるさと住民登録制度」などの施策も積極的に検討されたい。

将来的には持続可能な中山間地域として、保育園留学やコワーキングスペース、ワーケーションなどの取組も検討されたい。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月22日
議員名	大谷 学

事業No.	345		
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 （区分の説明）	廃止	○要改善		現行どおり
	（事業を廃止もしくは凍結）	（事業の内容や手法に改善や見直しが必要）		（事業の内容や手法はおおむね現行どおり）
予算規模 の評価 （区分の説明）	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	（予算はゼロ）	（予算は縮小）	（予算は現状維持）	（予算は拡大）

■評価判定に至った理由

（事業内容について）宿泊数など改善が必要と感じるが、見地での聞き取りを通じて改善されている部分の感じ取れるので、今後の改善努力に期待するため

（予算規模について）改善を期待して現状維持と判断する。

■改善・提案内容

宿泊しなければ体験できないようなプログラムの構築

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 月 日
議員名	沖田真治

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

弥栄地域における目玉施設であるが、宿泊者数が計画を下回ることが課題である。一方で「おてつだいたび」「いわみ留学制度」等により地域アピールも行っており、集客増に加え地域全体の価値向上に資する拠点としての発展が期待される。

(予算規模について) 現状維持

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名			

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	○要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
ふるさと体験村は宿泊客数の伸び悩みが課題だが、地域の交流や滞在を支える拠点として重要であり、他事業や団体と連携し弥栄地域の価値向上に寄与している。宿泊客や来場者の増加についてより検討する必要がある。施設利用促進に努めつつ、地域ハブとしての役割を期待する。

(予算規模について) 適当であると思う。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

体験村では「どぶろくづくり」など独自事業の拡充に加え、交流人口増や「ふるさと住民登録制度」などを積極的に検討すべきである。将来的には、保育園留学やコワーキング、ワーケーションなどを通じて持続可能な中山間地域を目指す取組も期待される。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	川上 幾雄		

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	○要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

本事業は、維持管理業務という名で「ふるさと体験村」が継続できるようにしているもので、維持している期間中にその施設が計画的に運営されることが求められている。しかし、管理する行政、運営する団体等のヒアリングによると遂行状況は芳しいものではないことが明らかとなった。維持管理であるから同程度の予算規模で施設の維持は行っていただきながら、「ふるさと体験村」の当初計画がなされるよう実行していただきたい。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 月 日
議員名	柳楽 真智子

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
宿泊数は前年度と同程度だが入込客数は増加している。現行どおりで今後の取組
を見ることでいいと判断した。

(予算規模について)
維持管理費なので現状で良いと思う。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

現行どおりとしたが、エアコン整備については未設置と思うので整備が必要と考
える。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月 22日
議員名	串崎 利行

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

現状維持で問題ない。現在どぶろくの申請をしている。小学校は、自然体験などの体験学習する為、年一回位来るべきで、教育の場の位置づけとするべき。

(予算規模について)

現状維持で問題ない。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

浜田市の重要施設である。現在若い夫婦が頑張っており、応援するべき。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月22日
議員名	小川 稔宏

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) ふるさと体験村の再生事業について、過去からの経緯が足かせとなり優秀な人材がいるにもかかわらず活かしていない現状があることが、克服すべき課題ではないかと思う。
(予算規模について) 市にとって必要な施設として運用できるための改革に期待し、予算については現状維持とした。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。
当該事業が弥栄地域の維持にとって大切な施設として今後も維持・継続できるため、地元の意識醸成と合意形成が不可欠と思われる。

作成日	令和7年 9月22日
議員名	上野 茂

事業No.	345
事業名	ふるさと体験村維持管理事業
担当課	弥栄支所 産業建設課産業振興課 所管委員会 産業建設委員会

■ 議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	○ 要改善		現行どおり	
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)	
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○ 現状維持	拡充	
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)	

■ 評価判定に至った理由

（事業内容について）以前は釣り堀、学校の体験など行われていた。何度か宿泊したが、今は宿泊客がもう一度行きたいと思う魅力薄れていると思う。

（予算規模について）「交流人口」を増やす努力は必要で、現状維持をしたうえでこれまでの検証したうえで必要であれば拡充を求める必要がある。

■ 改善・提案内容

7名の同僚と宿泊したが風力発電の音が気になり、寝付けない2人がいた。ヤギや

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 10月22日

議員名 布施 賢司

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
看板設置の文字の大きさや色合い等の課題はあるが、現行で良い。

(予算規模について)
現状で良い

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月22日

議員名

岡本 正友

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 一指定管理運営は継続されているが、ログハウス宿泊数やイベント集客について伸び悩みが報告されている。設備の維持や看板整備は適切に行われているが「利用者増加に向けた具体的方策」が十分ではない。中山間地域の活性化拠点としての役割を果たすには課題抽出と対策強化が必要。 (予算規模について) 一指定管理費は現状維持が妥当。運営そのものは安定しており、最低限の管理経費は必要。ただし、利用促進や収益改善が見込まれない場合、長期的には負担増の懸念がある。追加投資を行う場合は「効果検証〈入込客・イベント参加数・収益改善など〉」を前提にすべき。
--

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。 1・利用者増加に向けた取組 2・広報。発信力の強化 3・指定管理者の運営改善

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月 24日
議員名	芦谷 英夫

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	○要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

案内標識の設置などにより、ふるさと体験村の認知度が上がったのか、誘客の増につながったのか、他施設との連携は進んだのかなど、この事業による波及効果を検証する

(予算規模について) 了

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

了

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9 月 日
議員名	永見 利久

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	○要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
体験村への入込客を増やす必要もあるが、弥栄地域の観光の拠点としての事業の
取組みについては評価する。

(予算規模について)

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

入込客を増やす取組として、新たな体験事業の検討が必要と思う。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 月 日
議員名 佐々木 豊治

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
委員会評価のとおり

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 9 月 1 9 日
議員名 田畑 敬二

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

ふるさと体験村は目的ではなく手段であるという認識のもとで、体験村のあり方そのものを指定監視者が強く認識すべきである

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	西田 清久		

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		○現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

特にありません

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月22日

議員名

川神 裕司

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
本事業は再三にわたり見直しがなされ、価値の検証がなされてきた。素晴らしい自然や地域の素朴さ等活用できるコンテンツが施設の価値向上にうまくマッチしていないと感じている。企画、運営の努力は認めるも結果がついていない。支える人材が稀薄ではないか。以前から指摘している「弥栄の体験村」から「浜田の体験村」という位置づけが求められる。

(予算規模について)
予算的には企画力を磨き事業展開を期待するが、管理費に関しては現行で行うことが望まれる。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

これも以前指摘をしたが、デジタル社会と田舎の融合の戦略として、「ワーケーション」や笠松市民の森の地域を活用した「林業人材育成カレッジ」等のあらたな教育の場としても再生できるのではないかな。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月24日

議員名

牛尾 昭

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

飲食は、評価する。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

宿泊の検討。

作成日	令和7年9月24日
議員名	肥後 孝俊

事業No.	368・173	
事業名	担い手等育成支援事業	
担当課	農林振興課	所管委員会 産業建設委員会

■ 議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■ 評価判定に至った理由

(事業内容について)
市の指定果樹、主要3品種の1つの現場で聞き取り調査をする中で、持続可能性
がある農業が構築されているようには感じられない。根本的な事業改善の必要が
ある。農業従事者が高齢化で生産性が上がらず、先も見通せないなら補助を続け
る必要性を感じられない。

(予算規模について)
10年先の担い手が心配される中で、補助を続けても溶けてなくなる。

■ 改善・提案内容

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 月 日

議員名 村木 勝也

事業No.	当No. 368、実No. 173	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	担い手等育成支援事業		
担当課	農林振興課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

（事業内容について）

事業状況を確認したところ、生産者に必要な物品の内汎用性の高いものは除外し、産地維持につながるものを補助対象としている一方で、対象外となっている物品・機器等について不満の声がある。

事業実績として経営体・認定農業者の数や振興作物産出額の増加、予算の執行率等が示されているが、物品購入補助の事業実施が目的化し、本来の事業目的である「担い手育成」「産地振興」につながった評価が見えず、業務改善サイクル（PDCA）の有効性に疑問がある。また、継続事業で農家支援に一定の効果は見られるが、限られた財源の中での補助対象者・物品の基準に、整合性・公平・公正な支援の観点から問題や課題が見受けられる。

（予算規模について）

継続による一定の効果は見受けられるので、事業の廃止でなく縮小して、業務改善サイクル（PDCA）について再検討する機会とされたい。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

事業を行うことが目的となっているように見受けられる。他事業との関連を考慮し、選択と集中による効果的な事業となるよう、業務改善サイクル（PDCA）を生かされたい。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月22日
議員名	大谷 学

事業No.	368		
事業名	担い手等育成支援事業		
担当課	農林振興課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	○要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	○縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 振興作物の産出額の増加など一定の成果を示されているが、購入物品と担い手育成の関連性に乏しい部分のあるため

(予算規模について) 購入物品等の整合性等について整理を必要とするため

■改善・提案内容

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 月 日
議員名	沖田真治

事業No.	当No. 368、実No. 173	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	担い手等育成支援事業		
担当課	農林振興課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 （区分の説明）	廃止	要改善		現行どおり
	（事業を廃止もしくは凍結）	（事業の内容や手法に改善や見直しが必要）		（事業の内容や手法はおおむね現行どおり）
予算規模 の評価 （区分の説明）	廃止	縮小	現状維持	拡充
	（予算はゼロ）	（予算は縮小）	（予算は現状維持）	（予算は拡大）

■評価判定に至った理由

（事業内容について）
補助対象に不公平感があるとの声もあるものの、全体として成果が見られる。中でも新興作物である「西城柿」においては出荷額が1億円を超える成果もみられ地域農業の基盤強化につながっていることから継続し取り組むべきと考える。

（予算規模について）現状維持

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月22日

議員名

村武 まゆみ

事業No.	当No. 368、実No. 173	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	担い手等育成支援事業		
担当課	農林振興課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		○現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
農家減少が進む中、農地集積や機械大型化の需要に対応し、本事業は生産者の投資負担を軽減し、農業振興と農地維持に効果を上げている。

(予算規模について) 適当であると思う。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	川上 幾雄		

事業No.	当No. 368、実No. 173	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	担い手等育成支援事業		
担当課	農林振興課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	○要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	○縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

助成することが事業の目的となっているように見受けられる。目的は担い手の育成であり、今後、農業へ就農する若手を育てることが第一目的であろう。事業として、小機材への助成を行っていることが若手就農者を育てることに寄与するとは理解できない。担い手を育てることに再度目を向け、それに向けての措置を再検討すべきです。新たな措置が組み立てられるまでは予算を縮小して事業は進めていただきたい。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 月 日
議員名 柳楽 真智子

事業No.	当No. 368、実No. 173	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	担い手等育成支援事業		
担当課	農林振興課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
担い手の育成・確保は重要な取組みである。持続・維持に必要な支援は継続することが望ましいことから現行どおりと判断した。

(予算規模について)
応分負担の考え方があると思うことから、現状の補助が適正かを十分精査して補助額の見直しを行ってほしい。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 9 月 22日
議員名 串崎 利行

事業No.	当No. 368、実No. 173	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	担い手等育成支援事業		
担当課	農林振興課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

内容については問題ない。今年事業名を再編され事に対し評価する。

(予算規模について)

現状維持で問題ない。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

農業振興を行う為には、重要な事業で執行率100%目指すべき。
特に、有機農産物に力を入れるべき。

作成日 令和7年9月22日
議員名 小川 稔宏

事業No.	当No. 368、実No. 173	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	担い手等育成支援事業		
担当課	農林振興課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
「担い手育成」「産地振興」という事業目的から見た効果に疑問がある。公平公正な支援制度として補助対象者や対象物品の基準の明確化が必要である。

(予算規模について) 一定の効果はあるので廃止でなく縮小とする、

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

物品購入補助の支援が目的ではなく選択と集中による効果的事業となるよう期待したい。

作成日

令和7年 9月22日

議員名

上野 茂

事業No.	368			
事業名	担い手等育成支援事業			
担当課	農林振興課 普及支援係	所管委員会	産業建設委員会	

■ 議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 （区分の説明）	廃止	☒ 要改善	現行どおり	
	（事業を廃止もしくは凍結）	（事業の内容や手法に改善や見直しが必要）	（事業の内容や手法はおおむね現行どおり）	
予算規模 の評価 （区分の説明）	廃止	縮小	☒ 現状維持	拡充
	（予算はゼロ）	（予算は縮小）	（予算は現状維持）	（予算は拡大）

■ 評価判定に至った理由

（事業内容について）新規就農者を増やすための広報活動を幅広く、より生産者に分かりやすくなっているのか

（予算規模について）現状維持で

■ 改善・提案内容

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 10月22日
議員名	布施 賢司

事業No.	当No. 368、実No. 173	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	担い手等育成支援事業		
担当課	農林振興課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

効率、生産性がアップして事業構築されているので、現行で良い。

(予算規模について)

現行で良い。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月22日

議員名

岡本 正友

事業No.	当No. 368、実No. 173	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	担い手等育成支援事業		
担当課	農林振興課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

（事業内容について）一認定農業者、新規就農者、中心経営体の支援が一定数行われており、地域の農業の担い手確保に寄与している。しかし経営継承促進支援が1件30万円と極めて限定的であり今後の農業経営の持続性確保という点で物足りない。高齢化や後継者不足が進む中、「経営継承」や「次世代への引き継ぎ」をどのように支えるかが最大の課題である。

（予算規模について）一現状の補助事業は一定の成果を出しているが経営継承や新規就農支援にさらに財政的な後押しが必要。特に果樹や有機農産物など高付加価値作物の振興は地域産業の柱となりうるため支援を強化すべき。担い手の確保と育成は将来世代への投資であり予算拡充が望ましい。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

1・経営継承支援の充実 2・新規就農者への包括的支援 3・産地振興の推進

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月 24日
議員名	芦谷 英夫

事業No.	当No. 368、実No. 173	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	担い手等育成支援事業		
担当課	農林振興課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	○要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

担い手確保とその拡大への成果が上がるよう、事業の継承、生産高の増加など事業実施による具体的な成果を明示し進めること

(予算規模について) 了

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

了

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 9 月 日
議員名 永見 利久

事業No.	当No. 368、実No. 173	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	担い手等育成支援事業		
担当課	農林振興課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	○要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
事業目的の、担い手育成、産地振興の効果がみえず、継続し業務改善の検討。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

担い手育成、産業振興につながる事業となるよう、業務改善の検討も必要。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 月 日
議員名	佐々木 豊治

事業No.	当No. 368、実No. 173	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	担い手等育成支援事業		
担当課	農林振興課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 （区分の説明）	廃止	要改善		○ <u>現行どおり</u>
	（事業を廃止もしくは凍結）	（事業の内容や手法に改善や見直しが必要）		（事業の内容や手法はおおむね現行どおり）
予算規模 の評価 （区分の説明）	廃止	縮小	○ <u>現状維持</u>	拡充
	（予算はゼロ）	（予算は縮小）	（予算は現状維持）	（予算は拡大）

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 9 月 19 日
議員名 田畑 敬二

事業No.	当No. 368、実No. 173	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	担い手等育成支援事業		
担当課	農林振興課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

担い手等支援事業は、主要3品種に対する助成・補助であり（大粒ブドウ・赤ナシ・西条柿）作業用具の購入補助をしている。当然見直す必要がある。事業のPDCAのサイクルになっていない。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	西田 清久		

事業No.	当No. 368、実No. 173	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	担い手等育成支援事業		
担当課	農林振興課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		○現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

生産者が減少、高齢化して生産性がなかなか上がらない中で、頑張っていたきたい。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年9月22日
議員名 川神 裕司

事業No.	当No. 368、実No. 173	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	担い手等育成支援事業		
担当課	農林振興課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止 (事業を廃止もしくは凍結)	要改善 (事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		現行どおり (事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止 (予算はゼロ)	縮小 (予算は縮小)	現状維持 (予算は現状維持)	拡充 (予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
物品購入補助が目的としてあり、「担い手育成」に繋がっているか疑問である。
本来の目的を達成するための施策強化も検討すべきである。

(予算規模について) 本来の事業目的が見えにくいので予算に関しては縮小でよいのではないか。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

特になし

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月24
議員名	牛尾 昭

事業No.	当No. 368、実No. 173	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	担い手等育成支援事業		
担当課	農林振興課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

選択と集中による効果。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

P D C Aの再検討。

作成日	令和7年9月24日
議員名	肥後 孝俊

事業No.	440・195			
事業名	浜田市商業活性化支援事業			
担当課	商工労働課	所管委員会	産業建設委員会	

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
イベント開催時には一時的な賑わいが見られるが、そもそもの商店街のあり方が市民にとって変化しているのではないかと。廃業を選ぶ事業者が増えている。

(予算規模について)
支援を受けないで、繁盛している店。支援を受けても繁盛しない店。結局、人の問題なので、予算は現状維持で。

■改善・提案内容

ここに来たい。といわれるお店は、条件不利地でも賑わっている。良いモデルを一つずつ増やす目的で予算化されたい。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年 月 日

議員名

村木 勝也

事業No.	当No. 440、実No. 195	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	浜田市商業活性化支援事業		
担当課	商工労働課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
商業支援事業補助金については継続での申請もある。より有利な補助金への変更等による申請取下げもあり、当初予算額と決算額には乖離があるが、創業者のサポートを充実させる観点から引き続き必要な事業である。また、この事業とは別に手厚い創業セミナーも継続中であり、現行予算は必要と考える。
事業の支援を受けて各商店街で行われているイベントは、市民ニーズを満たして満足度は高いようであった。しかし、一部商店街のイベントでは、地元住民のボランティア活動支援と材料提供が無償で行われており事業実績と申請額に乖離が見受けられた。
一部改善すべき点は見受けられるが、商業活性化、にぎわい創出の観点は生かされており、若者や子供連れの参加が生み出していることは評価に値すると判断する。
(予算規模について)
イベント開催のみならず、人流を生み出し商店街の活性化につながるよう事業内容は現行どおり、そして予算規模は現状維持で見守りたい。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

前向きな商店街への支援も引き続き必要であるが、商店街の安全確保や景観保護などにも補助金を活用できるよう運用を検討されたい。
商店街活性化に向けたイベント等の開催について、人材が足りないなどの市民要望とともに、人材不足で開催できない状況も見受けられる。足りないものには物品費も含まれるであろうが、要望のある人材については、高校生や大学生を巻き込んだ人材プールのようなものを創設し派遣する制度の構築を検討されたい。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月22日
議員名	大谷 学

事業No.	440		
事業名	浜田市商業活性化支援事業		
担当課	商工労働課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		○現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 賑わい創出の観点は一定の成果を生じているため

(予算規模について) 現状を維持し継続を必要とするため

■改善・提案内容

高校生や大学生などの若年層を巻き込んだ取組を検討されたい。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	沖田真治		

事業No.	当No. 440、実No. 195	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	浜田市商業活性化支援事業		
担当課	商工労働課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
市民交流や一時的な賑わい創出につながっている、一方で商店街の業態の変化や小売店店舗の減少など、商店街を取り巻く環境は変化しており事業の効果が十分に発揮されにくい状況にあることを踏まえ現状維持と考える。

(予算規模について) 商店街活性化支援事業補助金の見直し。必要に応じた縮小。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月22日

議員名

村武 まゆみ

事業No.	当No. 440、実No. 195	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	浜田市商業活性化支援事業		
担当課	商工労働課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		○現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

商業支援事業補助金は創業者支援や商店街活性化に効果があり、イベントも市民ニーズを満たし評価できる。一部に改善点はあるが、にぎわい創出や若者・子育て世帯の参加促進につながっており、事業内容・予算は現行維持が適当と判断される。

(予算規模について) 適当であると思う。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

商店街支援は、安全確保や景観保護への活用も検討が必要である。イベント開催では人材不足が課題となっており、高校生や大学生を活用した人材プール制度の創設など、人材派遣の仕組みづくりが求められる。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	川上 幾雄		

事業No.	当No. 440、実No. 195	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	浜田市商業活性化支援事業		
担当課	商工労働課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		○現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

支援を活かして商店街では各種のイベントが行われていることは、ヒアリング等で明らかとなったが、開催に寄与する人材が不足しているようで、人材不足は、開催意志はあっても実行できない状況を生んでいる。その他の事業についても満足な成果が上がっているとは言い難い状況であるが、人材不足を解消する方策を検討されることをもって、事業内容・予算規模とも現状維持としたい。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	柳楽 真智子		

事業No.	当No. 440、実No. 195	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	浜田市商業活性化支援事業		
担当課	商工労働課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
目標には達していないが、廃業が増えている状況において商業活性化に繋がる一定の成果が見られることから現行通りとした。

(予算規模について)
現状維持で良い。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 9 月 22日
議員名 串崎 利行

事業No.	当No. 440、実No. 195	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	浜田市商業活性化支援事業		
担当課	商工労働課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

現行どおり。

(予算規模について)

現状維持。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

商店街が賑やかになる為にも、執行率100%目指すべき。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月22日
議員名	小川 稔宏

事業No.	当No. 440、実No. 195	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	浜田市商業活性化支援事業		
担当課	商工労働課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
様々な努力にもかかわらず効果が見えにくい現状がある。

(予算規模について) 商店街の自主性、主体性に期待し現状維持。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

商店街の活性化に関しては全国の地方都市共通の課題であり、抜本的な戦略の検討が必要と思われる。

作成日

令和7年 9 月 18日

議員名

上野 茂

事業No.	440			
事業名	浜田市商業活性化支援事業			
担当課	商工労働課 事業支援係	所管委員会	産業建設委員会	

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		☐ 現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	☒ 現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

（事業内容について）大手業者が進出するなか、廃業される方も増え商店街の賑わいも薄れている。大学生を巻き込みイベントなど実施することで商店街の宣伝になり少しは賑わいが戻るのではないかと思います。

（予算規模について）現状維持で

■改善・提案内容

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 10月22日
議員名 布施 賢司

事業No.	当No. 440、実No. 195	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	浜田市商業活性化支援事業		
担当課	商工労働課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

特に問題はない。

(予算規模について)

現状で良い。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月22日

議員名

岡本 正友

事業No.	当No. 440、実No. 195	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	浜田市商業活性化支援事業		
担当課	商工労働課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

（事業内容について）一支援制度は商業者、創業者にとって有効どあり意義が大きい。しかし執行率が7割程度にとどまっており十分活用されていない。人材不足や景気の動向があるにせよ補助金の存在が商業者に十分周知されていない事は大きな課題。商店街は生き残りをかけて前向きに経営努力を続けており補助制度を活用できればさらに活性化につながる。

（予算規模について）一現状の予算規模ではニーズに比べて十分とは言えない。特に商店街の共同事業や新規創業支援は地域経済の持続性を左右する重要な投資である。したがって補助金額の増額や対象事業の拡充を検討することが望ましい。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

1・補助制度の周知徹底 2・補助対象、内容の柔軟化 3・商店街活性化の持続

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月 24日
議員名	芦谷 英夫

事業No.	当No. 440、実No. 195	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	浜田市商業活性化支援事業		
担当課	商工労働課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	○要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
当初予算比44%執行率が示すように、事業の実効が上がっていないと見受けられる。商工団体、関係組合などと連携し、改めて事業の制度設計を行い事業を進めること

(予算規模について) 了

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

了

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9 月 日
議員名	永見 利久

事業No.	当No. 440、実No. 195	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	浜田市商業活性化支援事業		
担当課	商工労働課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	○要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
イベントの開催は、賑わい創出につながっており事業内容は評価する。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

賑わい創出に向けたイベント開催は、市民の声の取り入れの検討が必要。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 月 日
議員名	佐々木 豊治

事業No.	当No. 440、実No. 195	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	浜田市商業活性化支援事業		
担当課	商工労働課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		○ <u>現行どおり</u>
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○ <u>現状維持</u>	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9 月 1 9 日
議員名	

事業No.	当No. 440、実No. 195	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	浜田市商業活性化支援事業		
担当課	商工労働課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

創業者のサポートをさせる観点から継続が必要な事業である。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	西田 清久		

事業No.	当No. 440、実No. 195	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	浜田市商業活性化支援事業		
担当課	商工労働課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		○現行とおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

事業内容、予算規模現状どおりで良い

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月22日

議員名

川神 裕司

事業No.	当No. 440、実No. 195	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	浜田市商業活性化支援事業		
担当課	商工労働課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
創業者のサポートを充実させる観点から本事業の必要性は認める。地元商店街のスタッフの努力や取組姿勢には一定の評価ができる。しかしながら、商店街イベントの実施に関して人的要因でうまく開催できていないケースもあるのではないかな。

(予算規模について)
商店街の熱意や可能性を期待して現行の予算で様子を見るのが順当ではないかな。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

地元には県立大学や看護学校等、人材確保の機会もあり、積極的に若者との連携を模索して事業展開を進めていくべきだと考える。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月24

議員名

牛尾 昭

事業No.	当No. 440、実No. 195	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	浜田市商業活性化支援事業		
担当課	商工労働課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小		拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

よくやっている。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

そのままでいい。